八碁連だより

７月号　　第２９９号

発行日　　平成 28 年７月１日（金）
発行所　　八王子囲碁連盟
住　所　　八王子市久保山町２－33－16
電　話　　042－691－8343
発行者　　松本　健彦
編集者　　中谷　勝信

青梅市の「吹上しょうぶ公園」の菖蒲　６月８日

http://homepage3.nifty.com/yasu1120/hatigoren.html/

八王子囲碁連盟の目的

八碁連は、八王子市内に居住する囲碁愛好者が、囲碁を通じて親睦を図り、かつ、健康を維持できるよう機会を提供し、福祉の増進に寄与するとともに、棋力の向上を図ることを目的とする。

囲碁の起源を想像する

浅川囲碁同好会　　坂内　秀三

私が、囲碁と出会ったのは、24～5 歳のころである。「囲碁は世界で最も優れたゲームである」と先輩Ｔ氏（当時３段ぐらい）から手ほどきを受けた。仕事が終わったあと１局。その後、最初から並べ、「定石はこうだ、この手はこう打つところだと」延々と検討が続いた。そのおかげで、現在こうして囲碁を楽しんでいられる。さらに少しずつ上達すると、対局をするごとに、囲碁の奥深さ、限りなき難しさを痛感するようになる。そして囲碁は、中国が発祥で、４千年の歴史があることを知る。この原稿を書くにあたり、囲碁の最初の起源はどこから始まったのか気になり始めた。そこで勝手に自分なりに想像してみた。根拠は何もない。

河原で数名の子供たちが遊んでいた。そこに同じような大きさの、丸い黒い石と白い石が上流から流れついているのを拾い集めた。平らな岩の上に、石で線を引き、升目をつくった。最初は５本か７本程度のものではなかったか。そこで白黒交互に打ち、相手の石をとるゲームを始めた。石を多くとった方が勝ちとゆうゲームである。しかし、2 つの目ができた石は、囲んでもとることができないし、石をとれないケースもある。まもなく勝敗は目数の多さに変った。それを見ていた大人たちも意外と面白いゲームであることに気づき、大人たちにも広がっていった。いやむしろ大人たちの方が夢中になった。

子供たちの年齢は 9～13 歳程度。好奇心の強い子供こそ遊びの天才である。さらに、この遊びを発展させていったのは大人たちである。「コウ」や「セキ」は大人たちの発想か。また 13 路、15 路と升目を増やし、そして、現在の 19 路盤へと進化させた。この間、相当の時間が流れたと推測する。石を置いてみると、左右対称の実に安定した自然の理にかなった形であるように思えてならない。

囲碁は、日本に伝えられさらに発展した。カヤの碁盤は、香りのよさ、木目の美しさ、そして何よりも石の圧力を吸収する力が素晴らしい。白石は日向のハマグリ、黒石は那智黒が究極の石となった。碁笥は島桑と、このこだわりはいかにも日本的である。古典園芸の葉、茎（矢）根、鉢を含めたすべてを鑑賞の対象とする長生欄や富貴欄の世界に通じるような気がする。優雅さ、美しさと実用性を追求した結果であろう。

第２６回　活きいき大会の結果

大和田大会　　６月５日（日）　　於：大和田市民センター

参加者

浅川	恩方	元八	中野	大和田	石川	台町	北野	長房	川口	南大沢	非会員	合計
２	９	３	９	１８	６	２	６	１１	６	５	０	７９

初心者教室　２名　参加

A組　２４名（五段～七段）

優勝：小嶋 英基　長房／七段　　準優勝：山本 数英　川口／六段　　３位：横内 廣隆　浅川／五段

B組　２９名（二段～四段）

優勝：山口 修　大和田／二段→三段 準優勝：矢島 良宏　大和田／三段　３位：中谷 勝信　川口／二段

C組　２６名（６級～初段）

優勝：近藤 正　中野／初段→二段　　準優勝：仲渡 英生　石川／３級　３位：武中 章三　南大沢／初段

石川大会　　６月１９日（日）　　於：石川市民センター

参加者

浅川	恩方	元八	中野	大和田	石川	台町	北野	長房	川口	南大沢	非会員	合計
５	７	１	７	６	１６	０	１	１３	３	４	０	６６

初心者教室　３名　参加

A組　２４名（五段～七段）

優勝：松本 健彦　石川/六段　　準優勝：金本 好正　石川/七段　　３位：池田 正三　大和田/六段

B組　２１名（初段～四段）

優勝：木河 専　石川／二段→三段　　準優勝：中谷 勝信　川口／二段　３位：小西 弥一　浅川／二段

C組　２１名（７級～初段）

優勝：福島 きみよ　石川/２級→１級　準優勝：小町谷常隆　浅川／１級　３位：福田博行　石川／２級

活きいき大和田大会

A組　３連勝者の

決勝トーナメントの様子

活きいき大和田大会

競技開始前の挨拶風景

日本棋院八碁連支部コーナー

1　第３回級位認定囲碁大会のご案内

日時　　平成２８年７月３１日（日）　９時２０分　受付
会場　　東浅川保健福祉センター４階
主催　　日本棋院八王子囲碁連盟支部
共催　　八王子囲碁連盟
後援　　八王子市（公財）日本棋院
競技方法　　４回ハンデイ戦　Ａクラス（１～３級）Ｂクラス（４～６級）Ｃクラス（７級以下）
表彰　　各クラスとも、３勝１敗以上で１階級昇級とし、日本棋院の認定状を発行する。
　　但し、１級から初段へは４勝が必要。Ｃクラスで４勝したときは２階級昇級とする。
得点　　４勝者には日本棋院の免状と賞品を進呈する。
　　但し、初段の免状については本人の半額負担とし、且つ、日本棋院への入会が必要。
参加費　　１，０００円（弁当代含む）
申込先　　望月 成一　電話・ＦＡＸ　６６３－９７５８（各同好会で一括して申込ください）
締切　　７月２４日

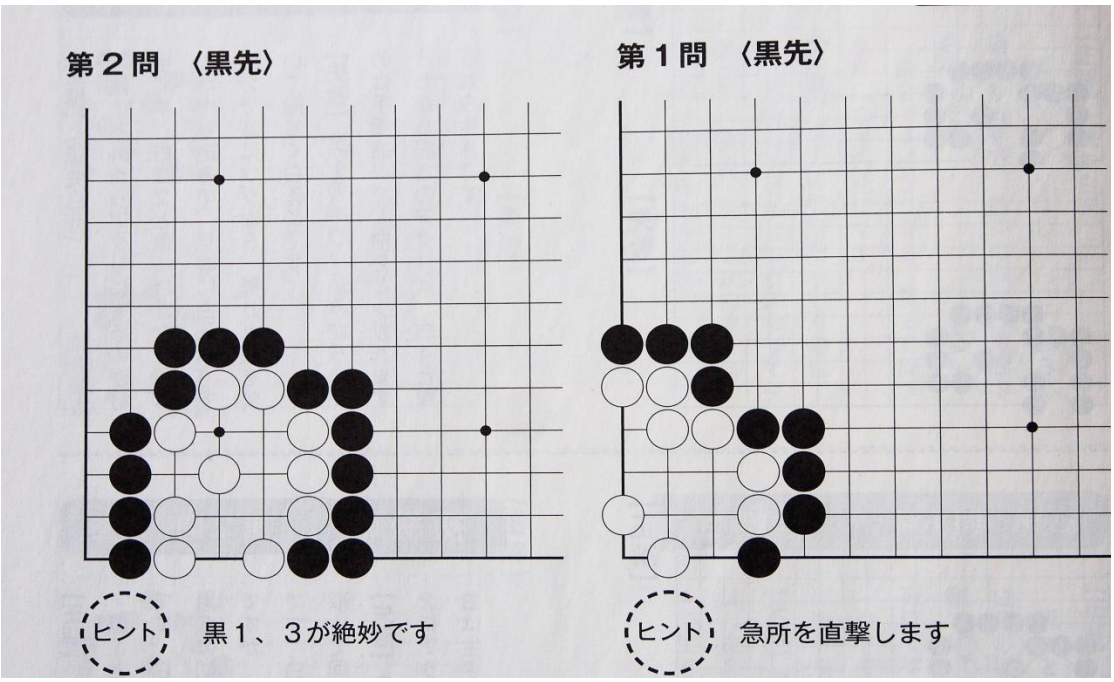
多数の皆様の参加をお願いします。

2　第３回交流親睦囲碁大会のご案内

主催　　日本棋院八碁連支部
対戦相手　　日本棋院入間支部

日時　　９月３日（土）午後
会場　　入間市立中央公民館　　ＴＥＬ　０４－２９６４－２４１３
競技方法　　ハンデイ戦で、A組（７段以上）３名、　B組（５，６段）３名
　　C組（３，４段）３名とし、各３回戦を行う。
募集　　９名
申込締切　　７月３１日　　望月 成一　（ＴＥＬ＆ＦＡＸ　６６３－９７５８）まで
その他　　応募者多数の場合は当方にて人選させて頂きます。

幹事　　南　正一郎



「詰碁」と聞いただけで、眉をひそめる方もいらっしゃるようですが、毛嫌いせずに気楽にお付き合いください。
ストレスがたまらない程度に考えるのがよいでしょう。

編集後記　　今年は２０１０年の気象に似ていて、この夏は猛暑になりそうだとの気象予報士の話、熱中症・紫外線に注意を呼びかけてくれていますが、皆さん特に熱中症には注意しましょう。
それにしても、近年異常な気象に感じられませんか？
今月号は、お知らせ事項が少なく４ページとなりました、詰碁の問題はNHK囲碁講座２０１５年４月号からの抜粋です、正解はそちらで！！